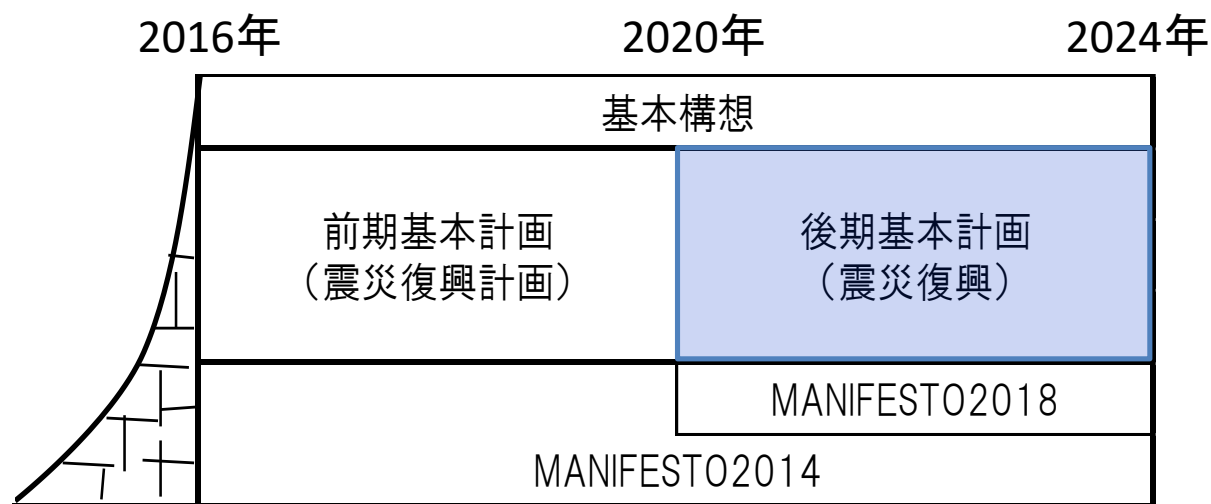


第7次総合計画(後期計画)の重点的取組について



1 後期計画における重点的取組(案)

これまでの前期計画の検証、人口減少・少子高齢化の更なる進展や社会経済情勢の変化等を踏まえ、後期計画においては、熊本地震からの復旧復興、そしてその先を見据えた未来への礎となる5つの取組を重点的に推進する。

重点① 復旧復興と防災・減災のまちづくり

重点② 教育・文化の質の向上

重点③ 健康寿命の延伸

重点④ 交通の利便性向上

重点⑤ 市民所得の向上と雇用の創出(総合戦略を整理)

重点① 復旧復興と防災・減災のまちづくり

⇒被災者の生活再建への支援継続と地域防災力の更なる向上

ア 生活再建に向けたトータルケア

液状化など宅地被害からの復旧や恒久的住まい確保後の被災者の暮らしの安全や生活再建、孤立化を防ぐためのコミュニティづくりを継続的に支援する。



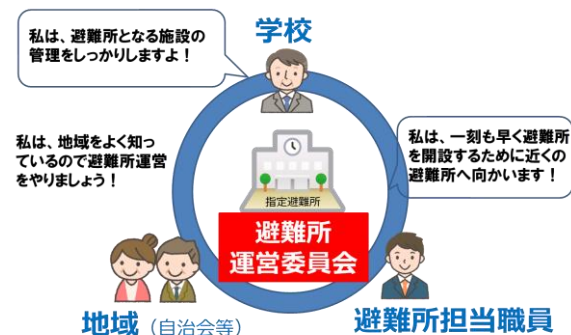
看護師等による家庭訪問



災害公営住宅入居前の交流会

イ 防災・減災のまちづくり

インフラの耐震化や道路等の多重化、福祉避難所の拡充等の避難環境の見直しや地域防災リーダーの育成など、ハード、ソフト両面から災害対応力の更なる向上に取り組む。



ウ 記録と記憶の伝承と発信

震災の教訓等を生かした防災教育や、地域での避難訓練等を行うとともに、防災減災の知見を国内外に発信し、災害時には被災地支援等を積極的に取り組む。



副読書を使った防災教育



西予市への職員派遣

重点② 教育・文化の質の向上



⇒次世代の担い手としての資質、能力を育む教育の充実
創造性と感性を育み生活に潤いを与える文化の振興

ア 確かな学力を育む教育の推進(情報化、英語教育等)

英語教育やICT教育など、時代の要請に応じた教育内容を充実するとともに、学校教育全体を通じて、子どもの主体性を重視した活動を推進する。

イ 子どもの貧困対策と中核を担う人材育成

全ての子どもが家庭環境に左右されることなく学習できる機会や返還不要の奨学金制度の創設等により質の高い高等教育を受ける機会を確保する。

ウ 文化の振興と継承

文化行政を市政の中核として位置付け、文化の魅力向上と発信、多様な文化活動及び鑑賞機会の充実に取り組む。



全小中学校に2万3460台(約3人/1台)のタブレット端末配備

重点③ 健康寿命の延伸



⇒人生100年時代を見据えた健康寿命の延伸と生活の質の向上

ア ヘルスプロモーションに基づいた健康づくり

ヘルスプロモーション(歩きたくなるまち、運動したくなるまちづくりなど健康につながる環境づくりの考え)に基づき、市民とともに健康増進に取り組む。

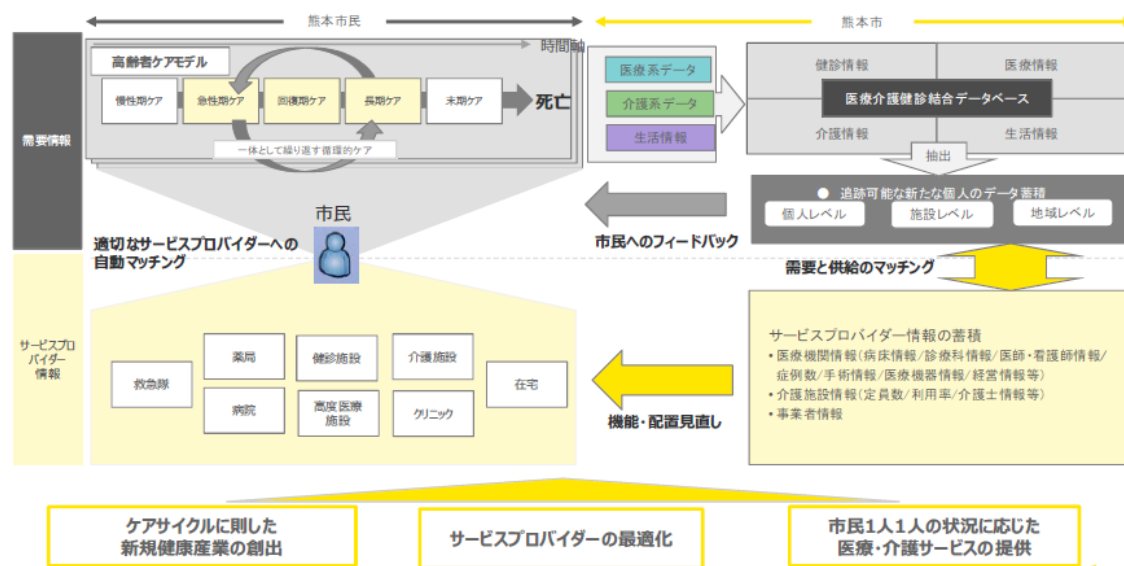


健康ポイントによるインセンティブ付与

イ 人生100年時代を見据えた健康介護ケア

市民一人ひとりの健康・医療・介護情報等の見える化により、高齢者のケアサイクルに即した必要かつ適切な医療・介護サービスを、自らの価値観により選択できる地域包括ケアモデルを構築する。

[健康介護ケアのイメージ]



ウ 予防医療の推進

がん検診を完全無料化し、受診率の向上を図るなど、予防医療を積極的に推進する。

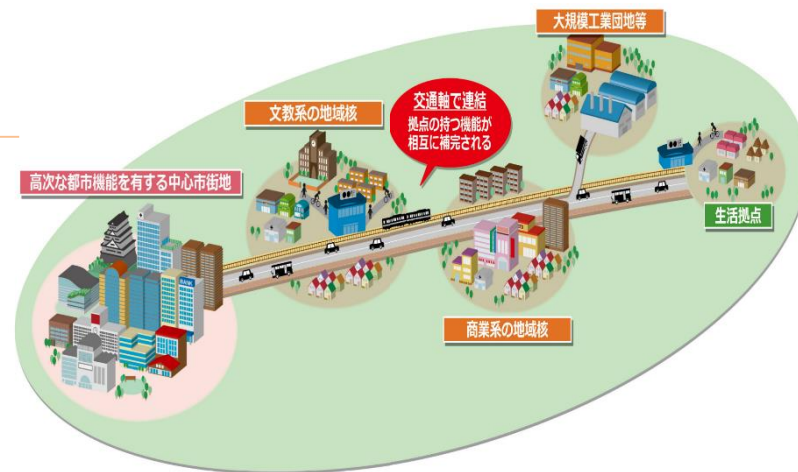
重点④ 交通の利便性向上



⇒交通体系の再編による移動手段確保と利便性向上

ア 公共交通と自動車交通のベストミックス

地域交通や経済、観光の土台となる交通網整備を改革し、都市交通を最適化する公共交通と自転車交通のベストミックスに取り組む。

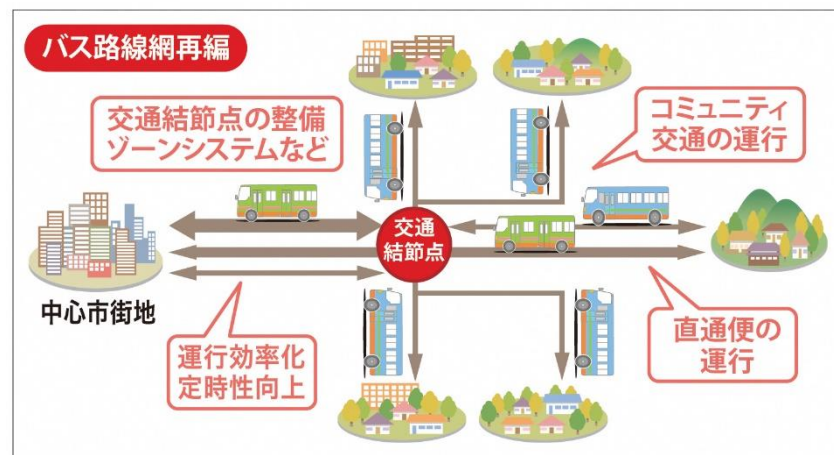


イ 次世代を見据えた公共交通の再編

民間バス事業者の経営統合、環状路線の再設置を含むバス路線やダイヤの抜本的見直し、市電延伸の検討など、次世代を見据えた公共交通の再編を行う。

ウ 道路網の強靱化と渋滞の解消

熊本都市圏の道路網の強靱化と渋滞解消のため、国道57号線東バイパスの部分立体、国道3号線植木バイパスの早期全線開通、熊本都市圏の環状道路の整備、主要交差点の改良に取り組む。



【出所】熊本都市圏総合交通戦略

重点⑤ 市民所得の向上と雇用の創出

⇒生産性の向上と交流人口の増加による市民所得の向上

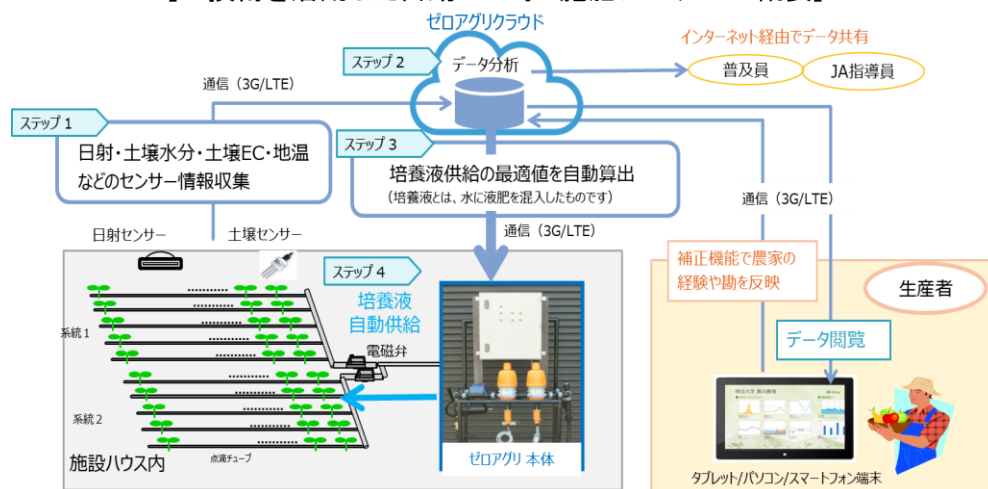
ア 起業支援による雇用創出と経済活性化

老若男女による起業支援を支援し、雇用創出と経済の活性化を促す。

イ 日本一の園芸産地づくりと農水産物の販路拡大

農水産業のポテンシャル(潜在能力)を引き出すためICTやAI技術等を活用した日本一の園芸産地づくりを進めるとともに、農水産物等のブランド化と新たな販路拡大に取り組む。

[AI技術を活用した自動かん水・施肥システムの概要]

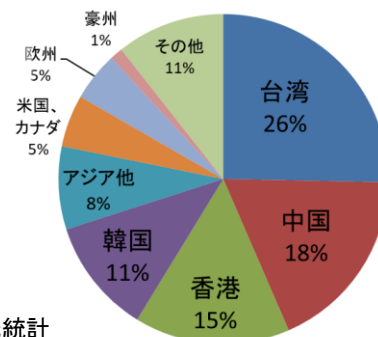


ウ マーケティングに基づく観光戦略

アジア、欧米、国内など地域の特性格に、観光客の関心分野(文化財、景観、歴史など)を調査し、ターゲットを明確化したうえで、効果的なインバウンド対策に取り組む。

[熊本市内の外国人国別宿泊客数]

東アジアが約8割を占める



【出所】平成29年熊本市観光統計

2 後期計画を推進するために

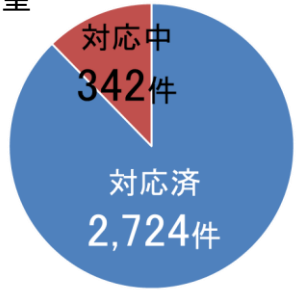
⇒ 重点的取組をはじめ地域課題の解決に向け連携や改革の推進



(1) 地域主義の更なる実践

地域課題の解決に向け、まちづくりセンター及び地域担当職員の体制と権限を更に強化するとともに、地域主義を徹底し自主自立のまちづくりを支援する。

まちづくりセンターへの相談・要望
(H29.4月～H31.3月) 3,066件



(2) 市役所改革の推進

ICTやAIなどの技術を活用し、業務の自動化・省力化を進め、市職員の生産性の向上と、市民サービスの向上に取り組む。



(3) 連携中枢都市圏との連携強化

熊本市のリーダーシップにより、行政コストの削減、都市機能の維持確保の観点から近隣市町村との連携を強化する。

(4) スマートシティへの転換

市民の健康状態の把握や生産性の高い農業効率的な都市交通システムの構築など、様々な分野でAIやIoTなどの情報技術を活用する。

九州中央の交流拠点へ
・経済成長のけん引
・高次の都市機能の集積・強化
・生活関連機能の向上

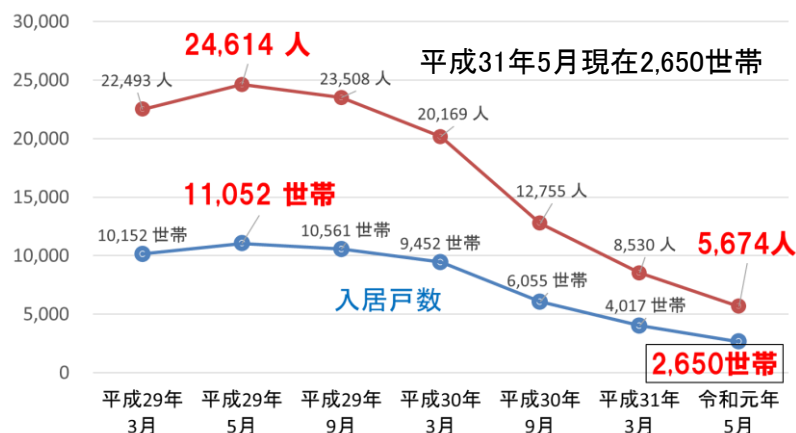


【参考】総合計画の見直しの視点

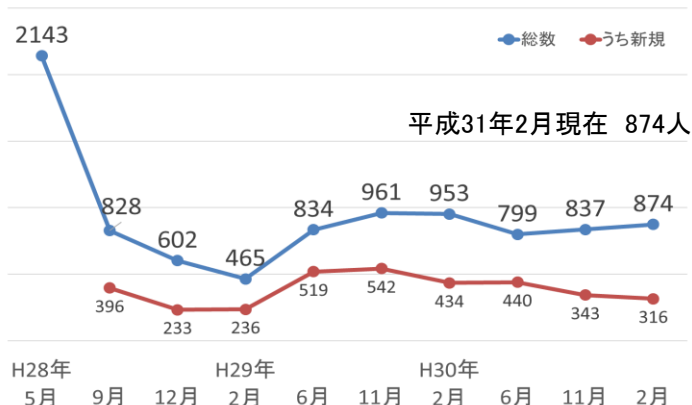
(1) 平成28年熊本地震の市民生活への影響

- 被災者の生活再建に向けた支援継続の必要性
- 被災体験による心身への影響、日常や助け合いの大切さなど価値観の変化
- 県内の歴史・文化遺産や観光資源の被害など地域経済の変化 など

仮設住宅等の入居者数の推移



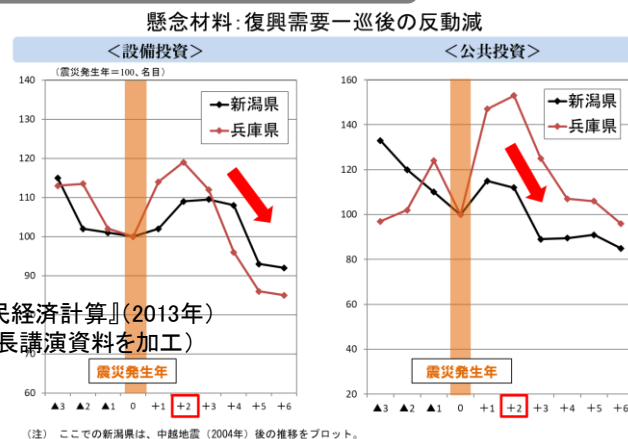
カウンセリングが必要な生徒児童数



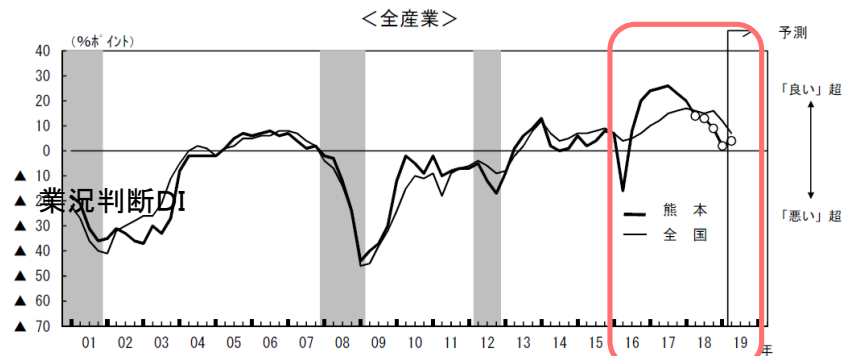
震災復興と景気動向

震災後2年目以降に復興需要が落ち着き景気剥落の傾向

【出所】兵庫県、新潟県『県民経済計算』(2013年)
(H28年8月23日銀熊本支店長講演資料を加工)



〔県内企業短期経済観測調査結果(2019年3月調査)〕



〔熊本県の金融経済概観(2019年6月6日)〕

熊本県内の景気は、基調としては、緩やかに拡大しているが、改善の動きには一服感がみられる。先行きについても、基調としては、緩やかな拡大が続くが、当面、改善のテンポは鈍化した状況が続くと予想される。

(2) 人口減少・少子高齢社会(2040問題への対応)

- 働き手(生産年齢人口)の減少や個人消費の低迷等による景気停滞
- まちづくりの担い手不足による地域コミュニティ力の低下
- 人生100年時代の到来と老年人口増加による社会保障費の増大 など

少子高齢化の更なる進展

2040年

熊本市人口: 68万人(▲6万人)
 65歳以上: 22万人(▲4万人)
 15~64歳: 38万人(▲8万人)
 0~14歳: 8万人(▲2万人)

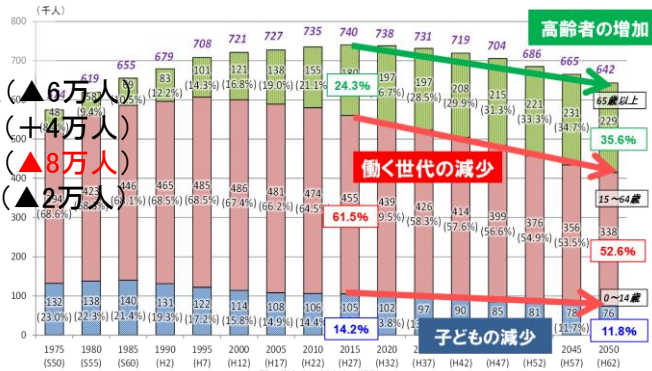


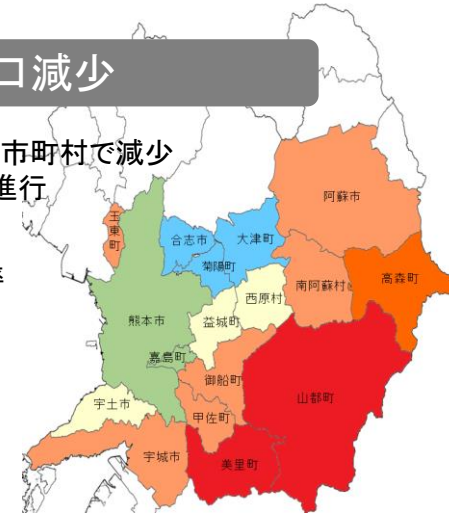
図 熊本市の将来人口推計

都市圏域全体での人口減少

合志市、菊陽町、大津町以外の市町村で減少
 圏域全体で人口の低密度化が進行

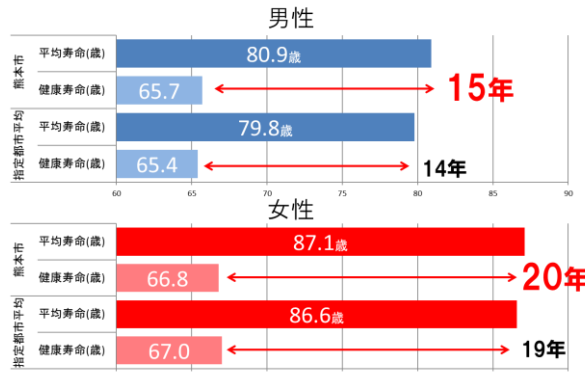
熊本連携中枢都市圏域人口減少率
 (2040年)

人口増減率 (2015年を基準)	
...	増加
...	±0~▲10%
...	▲10.1~▲20%
...	▲20.1~▲30%
...	▲30.1~▲40%
...	▲40.1%以上



平均寿命と健康寿命との差

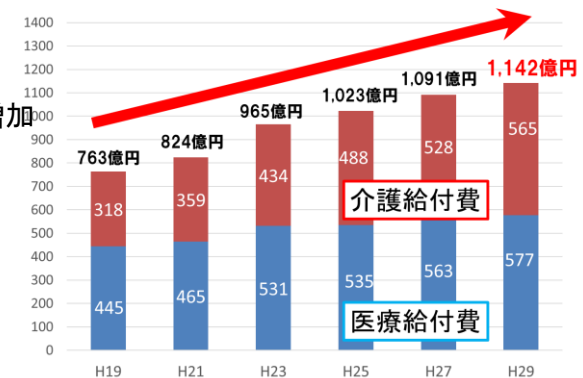
2016年度
 男性: 15年以上
 女性: 20年以上



【出所】KDB「地域の全体像の把握」H28年度(H29.6抽出)

介護・医療給付費の増大

2007→2017年
 10年間で379億円増加
 財政の硬直化

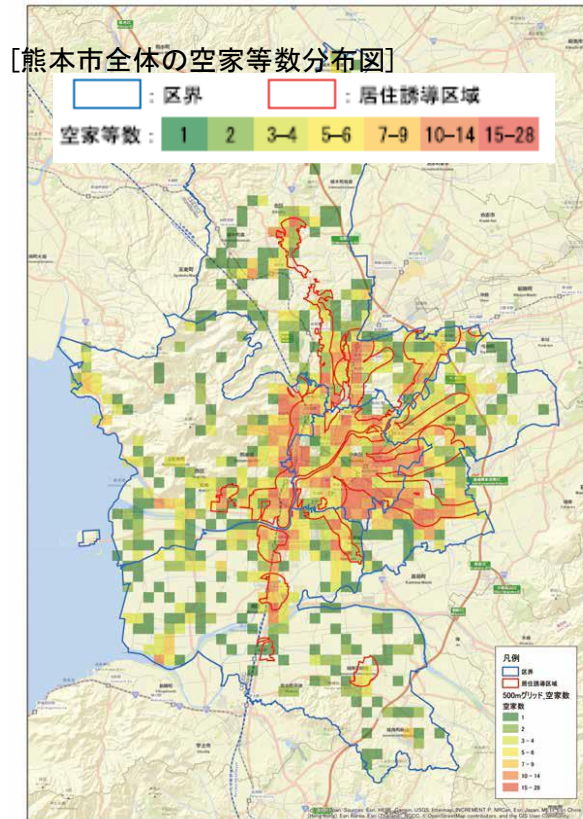


【出所】熊本市「熊本市の家計簿2018」

(3) 都市・交通基盤の構造的変化

- 都市のスポンジ化による空家・空地等の増加と医療や介護、買い物などの生活機能の維持困難
- 公共施設や道路、上下水道等インフラの維持管理、更新費用の増大
- 自動車分担率の上昇による渋滞恒常化と地域公共交通の縮小、サービス水準の低下

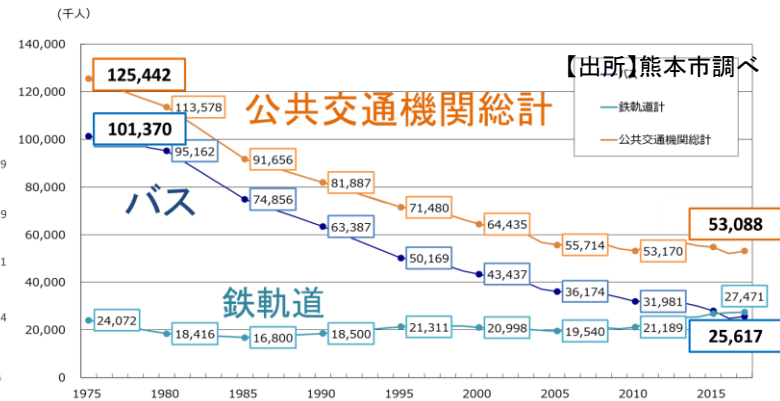
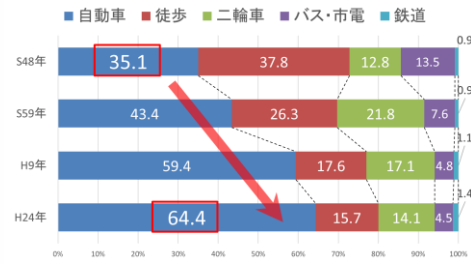
都市のスポンジ化



【出所】平成30年空家等の実態調査

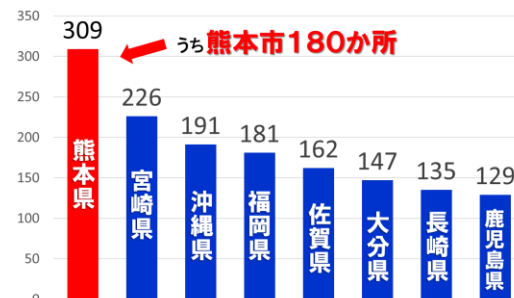
自動車分担率の上昇とバス利用者の減少

自動車分担率 約30%増加
バス利用者 7割以上減少

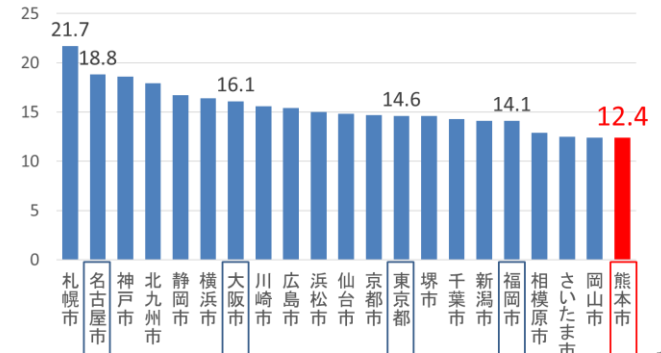


渋滞の恒常化

[九州内における地域の主要渋滞箇所数] [政令市DID（商業地域）の混雑時旅行速度(km/h)]



【出所】国土交通省 2013各県交通渋滞対策協議会



【出所】国土交通省 道路交通センサスH27

(4) グローバル化と情報化、技術革新

- 世界人口の増加とアジアへの経済重心の移動
- AIやIoTなどの第4次産業革命とキャッシュレス化や自動運転などの社会・産業構造の変化
- 世界共通の持続可能な開発目標と外国人を含めた共生社会の実現

SDGs

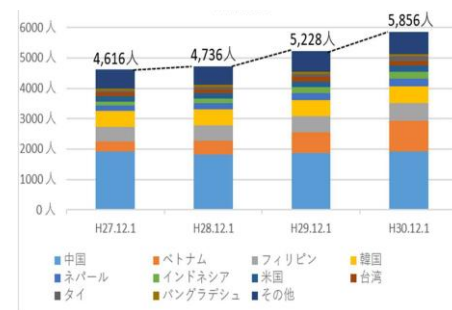
国連で採択された2030年までの間に達成すべき持続可能な開発目標。貧困の撲滅など、「誰一人取り残されない、包摂的な世界の実現」を目指すことを理念としている。



外国人材を含めた多様性と共生社会

就労を目的とする新たな在留資格(特定技能)の創設に伴い、外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策が求められている。

[本市における在留外国人の状況]



Society5.0

サイバー空間とフィジカル空間を融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会



次世代モビリティ(MaaS)

出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念

